

令和2年度 第20回県政参画電子アンケート  
「鳥取県産業振興未来ビジョン」の策定に関するアンケート結果概要

1 調査概要

- テーマ 「鳥取県産業振興未来ビジョン」の策定に関するアンケート
- 実施期間 令和3年3月12日～3月21日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 716名
- 回答数 402名(回答率 56.2%)

2 目的・概要

鳥取県では、今後、コロナ危機を克服し、持続的な発展を遂げた本県経済・産業のバトンを将来世代に引き継ぐため、新たに「鳥取県産業振興未来ビジョン」(以下、「ビジョン」という。)の策定を検討しています。

ビジョンの策定にあたり、会員の皆さまの本県の経済・産業に対する現状認識や、今後の鳥取県の経済・産業に必要なと思われる取組等についてご意見をお伺いするため、アンケートを実施しました。

鳥取県産業振興未来ビジョン(案)の概要

コロナ危機を克服し、県経済・産業の“再生”と“持続的発展”を実現するため、2030年における「県内総生産2兆円」「製造品出荷額1兆円」達成などを目指しながら、力強い産業構造への転換を図ります。また、ビジョンの推進エンジンとして「再生・発展リーディング(先導していく)・プログラム」を定め、重点推進していきます。

〔計画期間〕 令和3(2021)年度～12(2030)年度(10年間)

〔基本目標〕 コロナ危機を克服し、県経済・産業の“再生”と“持続的発展”を実現

基本目標達成に向けた3つの指針	①再生(コロナ危機からの早期脱却) ②発展(基盤的産業の成長と新たな潮流を引き込む産業創造・転換) ③基盤(人材育成・確保、分散引き込みなど持続的発展に向けた礎形成)
-----------------	---

再生	<b>①産業・雇用再生プログラム</b> 感染予防・拡大防止対策の徹底、事業継続と需要回復に向けた再生支援 ①「鳥取方式の新型コロナ感染予防・拡大防止対策」の徹底 ②無利子・保証料なし融資など「事業継続の支援」 ③雇用維持と円滑な労働移動を実現する「雇用セーフティネットの強化」 ④飲食、宿泊・観光など需要回復期を見据えた「感染予防と経済活動の両立」 ⑤経営多角化など産業・雇用の再生	<table border="1"> <tr><td>事業継続計画(BCP)策定企業</td><td>200社</td></tr> <tr><td>地プロ(※2)による正規雇用創出</td><td>300人</td></tr> <tr><td>経営多角化・新分野展開企業</td><td>500社</td></tr> </table>	事業継続計画(BCP)策定企業	200社	地プロ(※2)による正規雇用創出	300人	経営多角化・新分野展開企業	500社
	事業継続計画(BCP)策定企業	200社						
地プロ(※2)による正規雇用創出	300人							
経営多角化・新分野展開企業	500社							
発展	<b>②産業創造・転換プログラム</b> 電子電機、素形材、食品、観光、バイオ・ヘルスケアなど基盤的産業分野の成長 ①基盤的産業分野の成長軌道への転換 ②脱炭素社会の到来や規制緩和などを見据えた次世代成長分野(脱炭素、メディカル、宇宙・航空等)の産業創造と需要獲得	<table border="1"> <tr><td>県内総生産(実質GDP)</td><td>1兆9千億円(R6)</td></tr> <tr><td>製造品出荷額</td><td>9千億円(R6)</td></tr> </table>	県内総生産(実質GDP)	1兆9千億円(R6)	製造品出荷額	9千億円(R6)		
	県内総生産(実質GDP)	1兆9千億円(R6)						
	製造品出荷額	9千億円(R6)						
	<b>③人・企業・仕事 分散加速化プログラム</b> 新たな潮流「人・企業の分散」の引き込み、新常态型(ニューノーマル)の域外需要獲得 ①「拠点分散・国内回帰」、「基盤的産業分野の競争力強化」など戦略的企業誘致・県内拠点の拡充 ②副業・兼業やワーケーション(※3)など都市部人材の誘致 ③鳥取の地から新たな域外需要(新常态型)の獲得	<table border="1"> <tr><td>機能移転・拠点分散誘致件数</td><td>30社</td></tr> <tr><td>都市部ビジネス人材確保</td><td>300人</td></tr> <tr><td>オンライン海外ビジネス展開企業</td><td>3倍以上</td></tr> </table>	機能移転・拠点分散誘致件数	30社	都市部ビジネス人材確保	300人	オンライン海外ビジネス展開企業	3倍以上
	機能移転・拠点分散誘致件数	30社						
	都市部ビジネス人材確保	300人						
オンライン海外ビジネス展開企業	3倍以上							
<b>④DX(※4)推進 産業スマート化プログラム</b> DX推進による生産性向上、革新的実装モデルの創出・普及 ①新たな実装推進体制「とっとりDXラボ」の構築 ②ものづくり、物流、サービス、農林水産業など、重点スマート化分野のデジタル化、革新的実装モデルの創出・普及 ③県内DX関連技術の強力な地産地消 ④産学官・支援機関連携による体系的DX人材育成(とっとりDX人材)	<table border="1"> <tr><td>DX対応転換企業</td><td>300社</td></tr> <tr><td>とっとりDX人材育成企業</td><td>100社</td></tr> </table>	DX対応転換企業	300社	とっとりDX人材育成企業	100社			
DX対応転換企業	300社							
とっとりDX人材育成企業	100社							
<b>⑤重層的産業発展プログラム</b> 中核的牽引企業の成長促進、小規模事業者の持続的発展 ①技術・サービス革新や企業規模拡大など中核的牽引企業の成長促進 ②生産性向上や経営革新など小規模事業者の事業継続・発展 ③ESG(※5)経営や働き方改革推進など県内企業の価値向上	<table border="1"> <tr><td>産業成長事業認定数</td><td>500件</td></tr> <tr><td>ESG経営取組企業</td><td>50社</td></tr> <tr><td>事業承継件数</td><td>70件</td></tr> </table>	産業成長事業認定数	500件	ESG経営取組企業	50社	事業承継件数	70件	
産業成長事業認定数	500件							
ESG経営取組企業	50社							
事業承継件数	70件							
<b>⑥人材 スキルアップ・確保プログラム</b> 成長分野の人材育成・確保と事業転換、多様な働き方の促進 ①成長分野への事業転換を促す企業内人材のスキルアップ・確保 ②産学官連携により地域産業ニーズが高い「成長ものづくり」「DX」「観光」人材の育成・確保 ③女性、若者、障がい者など多様な人材の多様な働き方を実現	<table border="1"> <tr><td>企業内人材のスキルアップ・転換</td><td>1,500人</td></tr> <tr><td>産学官連携による専門人材育成</td><td>15件</td></tr> <tr><td>地域の創業件数</td><td>750件</td></tr> </table>	企業内人材のスキルアップ・転換	1,500人	産学官連携による専門人材育成	15件	地域の創業件数	750件	
企業内人材のスキルアップ・転換	1,500人							
産学官連携による専門人材育成	15件							
地域の創業件数	750件							

(※1)KPI:重要業績指標のこと。各プログラムの達成度や進捗度を計る定量的な指標のこと。

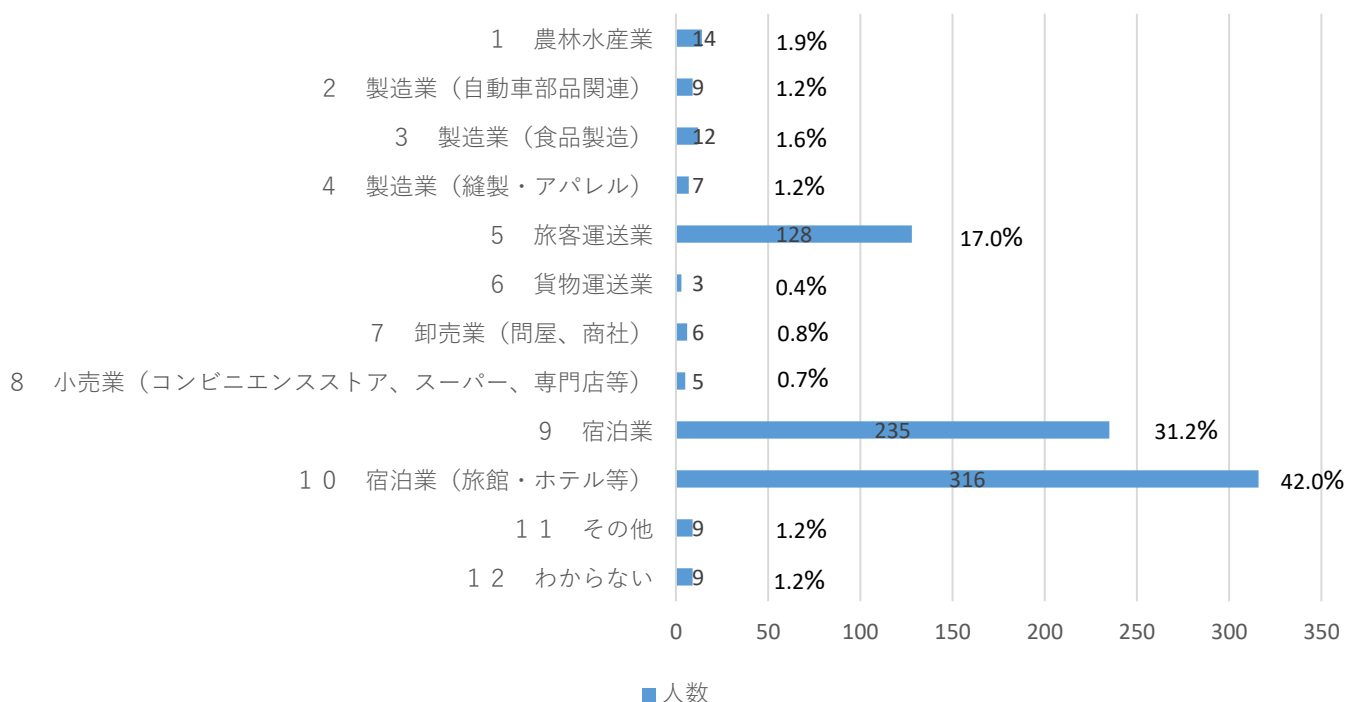
(※2)「地プロ」:地域活性化雇用創造プロジェクト

(※3)ワーケーション:仕事(Work)と休暇(Vacation)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や居住地から離れ、リゾート地などの地域で普段の仕事を継続しながら、その地域ならではの活動も行うこと。

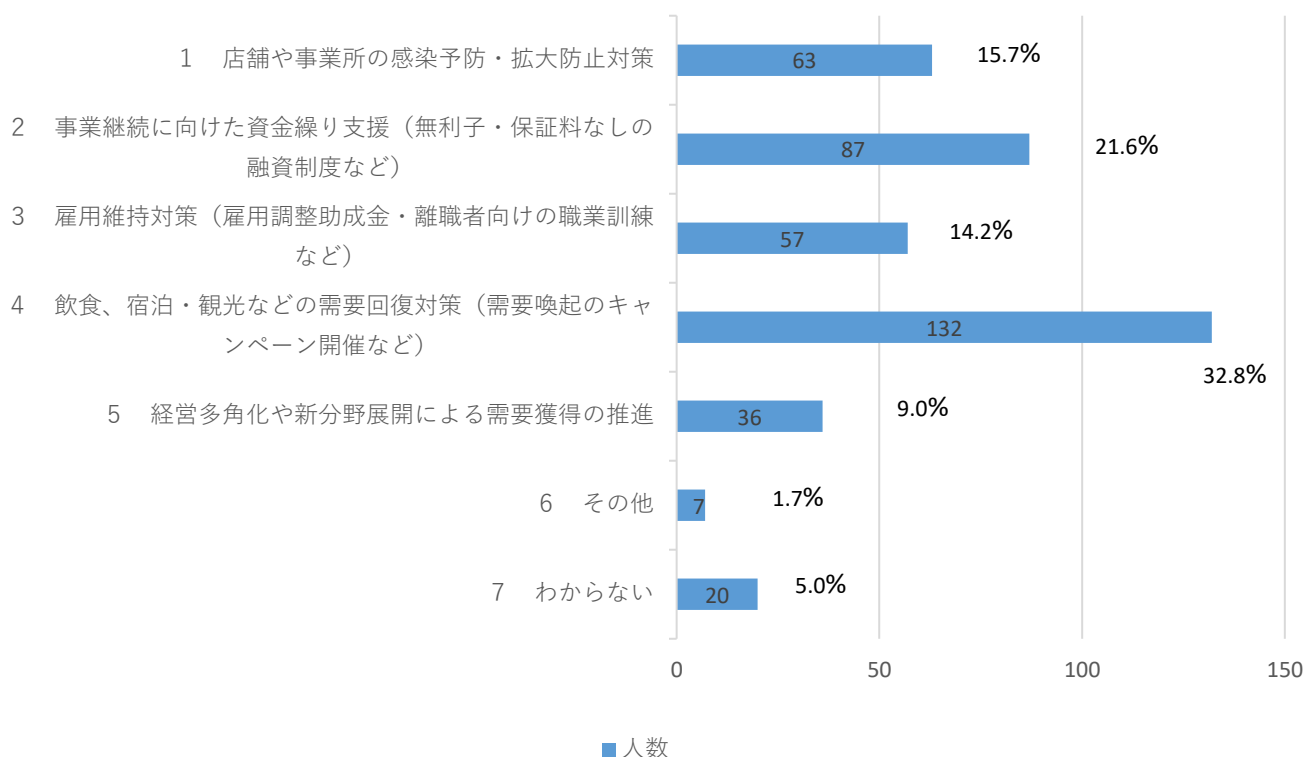
(※4)DX:デジタル技術を活用した業務や働き方の変革のこと。DXDigital-Transformation(デジタルトランスフォーメーション)の略。

(※5)ESG経営:企業が長期的な成長を遂げるために必要な3つの要素「環境:Environment、社会:Social、企業統治:Governance」を重視する考え方を実践する経営。

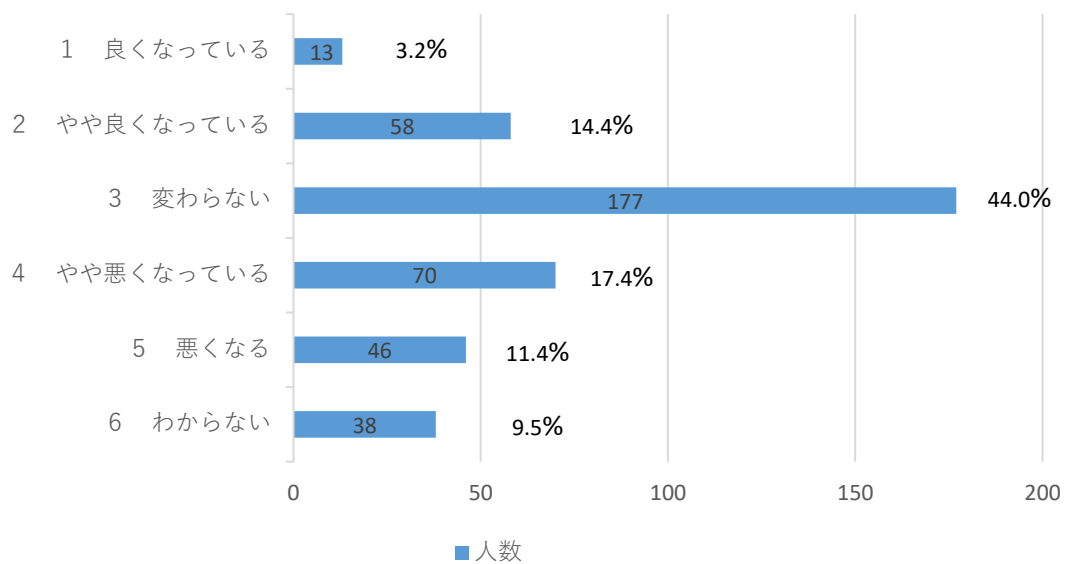
**【問1】新型コロナウイルスの感染拡大は国内外の経済に大きな影響を及ぼしていますが、県内産業において特に影響を受けている業種は何だと思われますか。(2つまで選択)**



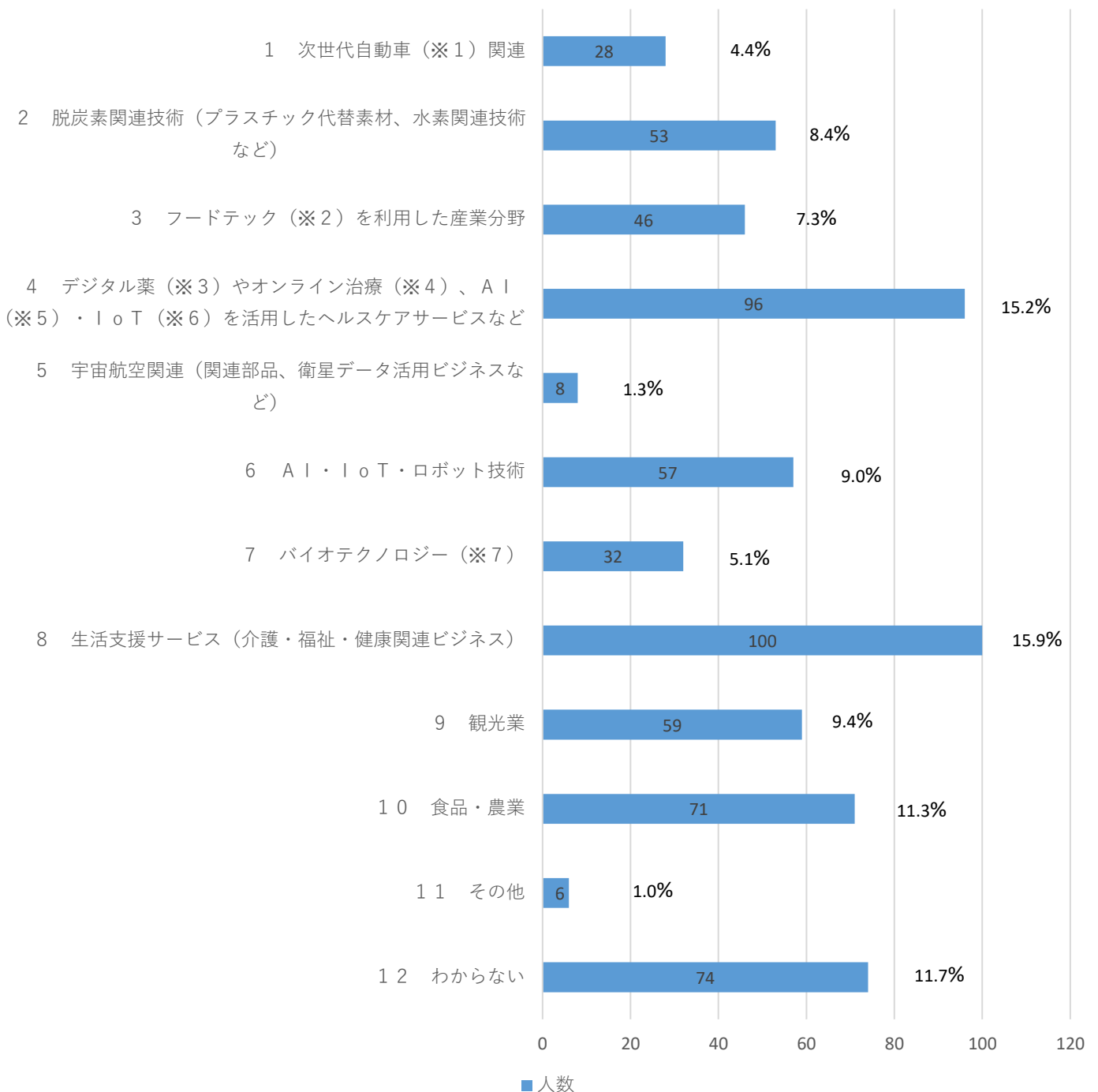
**【問2】コロナ禍からの県内産業・県内企業の再生に向けた対策として、より重要だと思われる対策は何だと思われますか？(1つだけ選択)**



**【問3】コロナ禍の中で、世界的に大きな経済影響が出ており、国内の経済・雇用情勢悪化の長期化も懸念されている一方で、国の調査等では、令和3年1月以降の景気について上向きになる見通し等も出ています。このような経済・雇用情勢の中、あなたの暮らしは半年後にどうなっていると思いますか(1つだけ選択)**

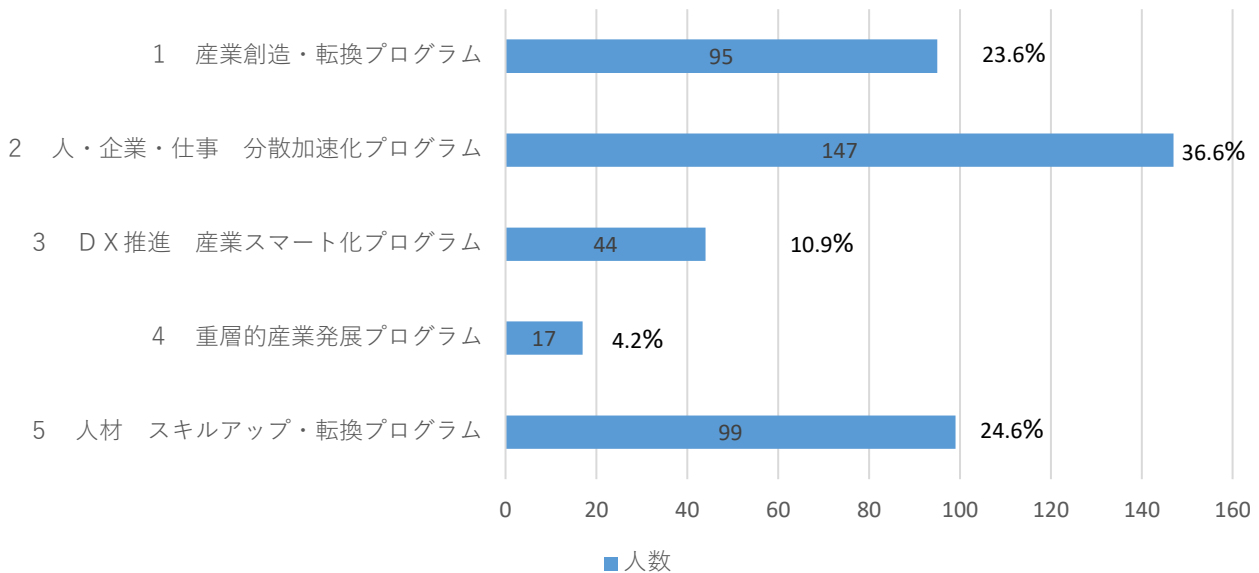


**【問4】 今後、県内での成長が期待される産業・技術分野はどれですか(2つまで選択)**



- (※1) 次世代自動車…電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車などのこと
- (※2) フードテック：食とITが融合して新たな産業、ビジネスが創出されること。
- (※3) デジタル薬…病気を治療するアプリケーションソフトウェア等のこと
- (※4) オンライン診療…スマートフォンやタブレット等を使用して、遠隔・非対面で診察が受けられる受診方法
- (※5) 人工知能のこと。AI…Artificial Intelligenceの略。
- (※6) 様々な物がインターネットにつながる事。IoT…Internet of Thingsの略。
- (※7) バイオテクノロジー：生命工学。遺伝子組み換え、発酵・新品種育成などの技術。

**【問5】本ビジョンでは、コロナ後における本県産業の持続的な発展に向けて、5つの重点推進対策を位置づけた上で取組を進めることとしています。この5つの重点推進対策の中で、最も重要と考える（又は最も関心がある）ものはどれですか。（1つだけ選択）**



**【問6】問5で選択されたプログラムを選択された理由について教えてください（任意、2000文字以内）**

(1 産業創造・転換プログラムを選択)

○一からの産業開拓は困難であり、現状の産業を基盤として発展、改革していく事がベターと考える。

(2 人・企業・仕事 分散加速化プログラムを選択)

○鳥取県の人口減少に歯止めをかけるためには県外からの移住を促進するのが近道。コロナや予測される大規模災害など都市部に住むことがリスクになっているので移住を促すには良い機会と思う。

○コロナ下でリモートワークが進んだ中、必ずしも都市部に居住する必要性が無いことが分かったので、都市部での生活より自然豊かな生活を望む方の移住と同時に人口の分散化を見込めると思った。

(5 人材 スキルアップ・転換プログラムを選択)

○これからの未来を創っていく若者に対しての支援は必要だと思ったから。

など

**【問7】その他、本ビジョンへのご意見等ございましたら、ご記入ください（任意、2000文字以内）**

○最優先課題は、人の流れを作ることだと思います。コロナによる価値観の変化が、その機会になり得ます。そこへの対応策に資源が集中させられるよう進めて頂きたいと思います。

○ビジョンが絵に描いた餅にならないよう、民間企業や地域の専門グループなどと連携してほしい。具体的に動くよう創意工夫をお願いします。

など